



入学式に寄せて

校長 宮澤雅子

美しい春の花々に迎えられて、4月9日は中学242名・高校256名の新入生を迎え、平成26年度の大妻中野の新たな一頁が多くの方々の祝福の中、スタートしました。入学式はいつの年も保護者の皆様は勿論のこと、私達教職員に大きな喜びをもたらしてくれる行事です。多くの学校の中から縁があつて同じ学舎で机を並べる絆を大切に受け止め、この大妻中野で過ごす6年間で、生徒一人ひとりにとってかけがえのない日々を

父母大妻中野

発行者 田中雅敬
編集者 山本文賀
大妻中野中学校高等学校
父母後援会
東京都中野区上高田2-3-7
電話 03(3389)7211

積み重ねられるよう、サポートしていかねばならないと、身の引き締まる思いでした。一度しかないこの大切な人生を設計していくことは、想像以上の難しさがあります。何故なら、歩んできた自分の足跡は確信をもって語ることができても、まだ先の見えない将来は暗闇を手探りで進むようなもの。進む道の指針は心に響く言葉がけが大きくな支えとなります。創立者大妻コタカ先生が残されたメッセージに「目にみえないものを磨き鍛え、真の実力を貯えなさい」とあります。「人間力、コミュニケーション能力、問題解決能力、思いやり、正義感」こうしてみると、人を育てるといふことは、この手にとることのできない、見えない物を最も大切に育てるといふことです。これから大妻中野の多くの友と切磋琢磨しながら、生き生きと明るく自己を伸ばびやかに育ててくれると信じています。そして本校の建学の精神である、「学芸を修めて 人類のために」を具現する人材が育ち、社会で活躍してくれる日を心から期待しています。

父母後援会会長就任にあたり
父母後援会 会長
田中雅敬

今思い起こすと、父母会との関わりの始まりは、娘が入学して初めての保護者会でした。下の娘が0歳であった為、私が行くことになりました。慣れない女子校の教室に男性は私一人。父母会の部員希望者が誰もおらず、思わず手を挙げてしまいました。2年目は妻が受けてきて私が部員。3年目は部長。副会長として4年目が終る頃、宮澤校長先生から、まさかの会長就任のご推薦を頂き、今年度会長を仰せつかりました。昨年2月の妻中受験者数は約1500人、大妻4校の中で一番だったそうです。校舎が一新されたこともありますが、何よりお嬢様方の優秀な学業による所だと思っています。4年間会長を務められた山本文賀長の「我々はお嬢様方と先生方の応援団でありたい」との趣旨の挨拶を鮮明に覚えています。代々引き継がれている応援団を更に発展させていきたいと思っています。父母後援会活動へのご理解、ご参加、ご協力をよろしくお願い致します。

新しいスタート
中学新入生代表
佐竹未羽

大妻中野に入学してから早くも1カ月がたちました。

1カ月前の私は、友達がたくさん出来るか、本当にここが自分に合っているのか、とても不安でした。そんな毎日を変えてくださったのは、先生方や先輩です。まだ学校のことがよく分かっておらず、とまどっていた私たちの手をひいてサポートしてくれた先生方。私たちのことをいつも思いやり、気遣って手を差しのべてくださった先輩方。いつも感謝しています。

ここ、大妻中野の生徒になったからには、校訓「恥を知れ」の志を高く持ち、一歩一歩卒業、そして大学進学までしっかりと歩んでいきたいと思っています。そして、次にまた学年が上がった頃には、下級生に優しく、時には厳しくできるよう先輩になつていきたいです。

最後になりますが、今年、この大妻中野生の一員になれたことに誇りを持ち、感謝の気持ちと共に、中学新入生代表挨拶とさせていただきます。先生方、そして先輩、これからもよろしく願います。

新たな決意
高校新入生代表
小畑奈津美

4月9日、私達は高校の入学式を迎えました。桜が満開のとても天気の良い日で気持ちの良いスタートとなりました。6月には、今年初めての試みとなるイングリッシュキャンプがあります。それには、多くのネイティブの方が来てくださいます。めったにないことなので積極的にネイティブの方に話しかけていき、英語力、そしてコミュニケーション能力の向上をはかりたいです。貴重な機会を大切に、有意義なものにしたいと思います。今からとても楽しみです。

また、入学してから大学受験に向けてのガイダンスがありました。大学受験はまだ先のことだと感じていた私は先生の話を聞いて、身が引き締まる思いがしました。これから私達は、将来に向けて様々な選択をしなければいけません。それは想像以上に難しく、不安も多いのですが、先生方の話を聞き、自分でじっくり考え、失敗を恐れず、挑戦していきたいと思っています。そして悔いのない3年間にするために努力を積み重ねていきたいです。

心身の成長を願って
中学1年生学年主任
田口裕子

春の訪れとともに今年は242名の新入生を迎えることが出来ました。

大妻中野で過ごす6年間では、楽しい時もあれば悩むこともあるでしょう。苦楽を共にする友人はかけがえのない親友となるに違いありません。そして、様々な経験が社会人としての礎となり、彼女たちを輝かせることになるでしょう。一歩ずつ歩み、心身共に大きく成長していく姿を見守っていきたくと思っています。

輝くために
高校1年生学年主任
伊賀美和子

高校1年生256名の高校生活が始まりました。未知のことを知り、新しい物事に取り組みときの新鮮な気持ちを忘れないために、自分が輝くことのできる機会を見つけ、そのための努力を積み重ねてほしいと思っています。高校卒業後の進路を決定していくための重要な時間であると共に、社会で活躍できる人間力を身につけることも大切です。あらゆる機会を捉えて、生徒たちを刺激していきます。

学年団紹介



中学 1 年学年団

後列左から：北田(5組)、廣瀬(6組)、島津(付)、
栗原(付)、栗山(付)、ニクソン(付)
前列左から：坪井(1組)、齋藤(2組)、
諸橋(主幹)、田口(学年主任)、
川井(3組)、富山(4組)



中学 2 年学年団

後列左から：石塚(5組)、村上(1組)、
神山(2組)、小田(4組)、牛込(付)、
佐藤(雅)(付)
前列左から：加藤(付)、古木(7組)、
五反(学年主任)、野崎(教頭)、
柴田(6組)、海老名(3組)



中学 3 年学年団

後列左から：佐藤(久)(4組)、小浦(3組)、
木村(5組)、小町(7組)、坂田(付)、
横田(付)
前列左から：松尾(2組)、野田(学年主任)、
古館(主幹)、石橋(1組)、
杉村(6組)、楠本(付)



高校 1 年学年団

後列左から：福島(5組)、高田(4組)、田村(付)、
櫻井(7組)
中列左から：宮川(3組)、内之宮(1組)、
野村(美)(付)、関(6組)
前列左から：奥山(2組)、伊賀(学年主任)、
中川(付)



高校 2 年学年団

後列左から：木内(1組)、石井(2組)、
河原(3組)、関口(4組)、
佐藤(亮)(5組)、高村(6組)
前列左から：亀石(付)、矢野(付)、
大西(学年主任)、
ヴィッカーズ(付)、中嶋(付)



高校 3 年学年団

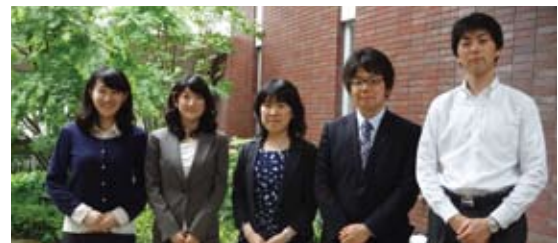
後列左から：大下(4組)、野村(賢)(6組)、
田丸(2組)、光村(1組)、石川(付)、
寺田(付)
前列左から：前川(5組)、豊田(3組)、
武川(学年主任)、小倉(付)

首都圏の中学入試がすっかり様変わりしている。10年前にはほとんどみられなかった午後入試実施校が増えたのだ。多くの受験生は2月1日、2日に午前・午後で4校に出願。3日はもはや入試後半戦に突入するスケジュールだ。

2014年度入試では、おかげさまで多くの受験生が出願して下さり、総志願者数は都内女子校の中で第3位という人気校となった。新校舎完成という環境も志願者増の大きな要因だと感じるが、本校の特徴は、学校を見学した方はほぼ全員が受験して下さいという点にある。アンケート

中学入試について

入試広報部 主幹 諸橋隆男



左から：栗山(外国語)、野村(美)(理科)、矢野(外国語)、横田(理科)、島津(公民社会)

新任教員紹介

一人ひとりの良いところを

新任代表 栗山春花

本年度より本校の外国語科教員として勤めさせていただきます栗山と申します。

大妻中野の生徒は、それぞれが違った素敵な面を持っていると感じます。「心優しい」「人の話を一生懸命聞ける」「正直」「謙虚」：一人ひとりの生徒との関わりを大切に、彼女らの良いところを発見し、認め、伸ばしていきたい。日々精進して参ります。どうぞ宜しくお願いいたします。

集計結果からも、「生徒さんたちの明るく楽しそうな様子」と「礼儀正しさに実際に接して受験を決めた」という感想が圧倒的に多い。嬉しいことである。これは本校生徒たちが、保護者の皆様の深い愛情のもとに育まれてきたことを物語っている。これもまたありがたく、かつ嬉しいことである。本校は「海外帰国生入試」も順調である。異文化体験という宝物を持つ帰国生は全校生徒の約1割。一般人入学生と共に生み出す「ツマナカ」文化に今後も注目して欲しい。



オリエンテーション旅行

オリエンテーション旅行を終えて

中学1年5組
河原里紗

中1

また、討論会では「こんなクラスを目指したい」を議題として、自ら考え意見を出し合い、クラスの目標を定めることができました。さらに、先生方から学習や進路のほか、規律のある生活についてご指導いただきました。

このオリエンテーション旅行での貴重な体験を忘れず、今後の中学校生活に活かしていきたいと思います。

私達中学1年生は、2泊3日で静岡県へオリエンテーション旅行に行きました。

運動会や全体ゲームなど、楽しいイベントが盛り沢山でした。これらの活動を通して、お互いが協力・団結して友達との絆をより深めることができました。



新しい学年で初めての恒例行事が行われました。平和学習やオリエンテーション、農業体験、ディズニーランドのおもてなしや日本の歴史に触れる旅など、それぞれが実りある時間を過ごしたようです。

平和学習旅行

平和学習旅行を終えて

中学3年2組
源 悠華

中3



平和祈念像や平和祈念館の文字にあるように長崎は今でも平和であることを祈り続けています。私は長崎で生まれましたが、69年前の戦禍を知らずに東京で過ごしてきました。事前学習で平和とは戦争をしないことだと思っていました。しかし被爆者の下平先生による体験講話を聴き、「平和とは人の痛みをわかり合うこと」だと学びました。戦争が無くて核の恐怖がある限り平穏な生活は訪れません。そのことを心に刻み平和の鐘を合唱しました。歌声に涙される下平先生のお姿を拝見し、私たちの平和を祈る気持ちが伝わったのだと思います。

環境学習旅行

環境学習の思い出

中学2年1組
青山智咲

中2



小雨の降る中、私たちは農作業体験として田植えを行いました。素足をおそろおそろ田んぼに入れたときの感触は今でも忘れられません。

そして、何より楽しみにしていた民泊。私が泊まったのは、コンニャクやネギなどを作っているお宅でした。そこで私は、田植えに使う苗を運んだり、竹の子の皮むきのお手伝いをしたりしました。夕食の時には食べきれない程のおいしい手料理を囲み、民泊先の方から農作物を動物から守る方法や、地元のお祭り、方言など上越地方の様々なお話を聞くことができました。この3日間の楽しかった思い出や貴重な経験をずっと忘れずにいたいと思います。

歴史研究旅行

奈良・京都を訪れて

高校2年5組
竹内百合子

高2



高校2年生は4泊5日で奈良・京都へ行きました。飛鳥地方のレンタサイクルでは東京では感じることでできない豊かな自然を満喫しました。高1の頃から下調べをした自主研修では、地元の方々に助けられながら、歴史ある地を訪れて、その時代の文化や風習などを学びました。私は今回の旅行で古代から現代まで伝わる文化、風習、歴史的建造物があることの素晴らしさと、昔の人々の知恵や行動の偉大さを感じました。そしてなにより今回の旅行では学年全体に最後の修学旅行を楽しもうという雰囲気が流れていたため、学ぶだけでなく思い出を残す意味でも有意義な旅行になったと思います。

学習オリエンテーション旅行

遠足

高校1年7組
三浦理紗

高1



5月15日、私たち高校1年生は東京ディズニーランドへ行ってきました。当日の朝はそれまでの予報通り雨が降っていました。途中で晴れて、セーターを着ていられないほどに暑くなりました。

学校のみんなと行くディズニーは個人で行くとは違い、先生の意外な二面を見られたり、写真を撮ったりできたのが楽しかったです。

私たちの班はあまり過激なアトラクションには乗らず、ショーやパレードなどを見たりしました。特に楽しかったことは大好きなドナルド、グーフィーたちと写真を撮れたことです。また機会があればみんなとディズニーに行きたいです。

秋桜祭

体育の部

2014年7月1日高校生、
2日中学生

高校生

H3 詩吟舞踊

H1 ジャズダンス

H2 煙めきの瞬間

中学生

J1 エアロビクス

J3 レインボージョイ

J2 フラッシングナウ

色別対抗リレー中学

玉入れ

クラス対抗リレー

棒引き

騎馬戦

6月18日、体育祭予行が無事終わりました。心配していた進行も、先生方や幹部の先輩方のおかげでスムーズに進められました。自ら働いている先輩方の姿にあこがれます。しかし、7月2日の体育祭本番は、中学生のみです。幹部内で後輩に指示を出し体育祭を進めていけるのか不安ですが、予行の時の反省や先輩方を見て学んだことを活かし、本番の成功のため幹部全員で全力を尽くしたいと思っています。ご協力お願いします。

1人1人が輝ける体育祭に
中学体育祭実行委員長
中学3年7組 代田みさ子

高校体育祭に向けて

高校体育祭実行委員長

高校2年3組 飯伏由佳

今年度、高校体育祭実行委員長を務めさせていただく飯伏由佳です。先日行われた体育祭予行では、どの学年も真剣にダンス練習をしていて、そのがんばりを体育祭本番で素晴らしい作品に変えてほしいと思います。また、今年の体育祭は中高別々に行われるので、少し寂しく思われますが、一人あたりの出場競技数はいつもより多くなるので、体育祭のテーマ『光輝燦然』のように全員が輝いている体育祭になってほしいと願っています。

クラブ紹介

団結する心

チアリーディング部 部長 木村美緒

こんにちは、FREEGREENSです。私達は週3日で活動しており、基礎練習に加え、

スタンツやタンブリングの練習をしています。

チアリーディングは、人々を応援するスポーツです。応援する機会はまだ少ないのですが、演技を見て下さる皆さんに元気を与え、笑顔になっていただけるように、日々練習を重ねています。

良い演技をするために必要なチームの団結力や仲間への信頼を大切にして、日々活動しています。体育祭・文化祭での演技を楽しみにしていただきます。



理系女子の集まり

化学部 中2代表 岩下志穂子

化学部では前半で、ガスバーナーによる火の扱いになれるため、トンボ玉やマドラー作

りなどで練習します。その成果を文化祭で展示し、販売しています。

後半は縦割りグループを組み、グループ研究をします。自分達がやってみた実験を通して、何故?の不思議を試行錯誤しながら説明しています。部活内で発表会もしています。やったことがない実験や失敗した実験は、顧問の先生方や先輩方がわかりやすく教えて下さいます。化学部はとても楽しい部活動です。



各部部长挨拶



後列左から:長谷川(卒業記念企画部)、宮本(広報部)、栗原(文化部) 前列左から:山本(会報編集部)、武田(社会部)、田中(教育支援部)

楽しく活動致します

広報部 宮本裕子

広報部の主な活動はコスモス祭での無料休憩室の運営です。昨年は初めての経験で、お客様をおもてなしさせて頂くことで精一杯でした。本年度は思いもよらず部長をお引き受けすることとなりましたが、部員が楽しかったと思えるような活動にしていきたいと考えております。休憩所では本校生徒の活動の様子をDVDや写真で紹介しております。本校受験を希望するお子様とご家族に本校の良さを伝えてきたらと思います。昨年同様休憩室では和菓子とお茶のサービスをしております。また毎年ご好評のお弁当の販売もいたしておりますので、是非ご利用くださいませ。

就任のご挨拶

社会部 武田 浩

今年度社会部部長を拝任しました武田と申します。よろしくお願い致します。子供が入学した年に前身の社会教育部に入り社会部一筋、3年目の今年は部長を務めさせて頂いたことになりました。社会部の活動は11~12月の校舎周囲の落ち葉清掃、繁華街の見回り、秋桜祭終了後の見回り(左写真など)身体を使った仕事が多いのが特徴だと思います。清掃活動は、近隣の方々から声をかけてくれたりして嬉しい事もありますが、寒い時期の活動である事、繁華街の視察は暑くなってきた時期に休日の雑踏を歩き回るなど、身体的に厳しい面もあります。部員の皆様にはご負担をかける事になりますが、全ては子供達、学校の為になると考え今年度も引き続き実施していきます。片や、社会部の活動は各種作業の為に集合活動、解散で終わるのでは無く、部員の交流の場(懇親会)なども企画したいと思っています。1年後に部員の皆様が「この部に参加して良かった」と思っていたような部にしたいたいと考えています。1年間よろしくお願い申し上げます。



パトロールの様子

新年度ご挨拶

文化部 栗原千明

今年度、文化部の部長を務めます栗原です。長女の入学以来、幾度か文化部員として父母後援会でのお仕事を経験させて頂いた頂きましたが、初めての部長という大役、気をひきしめて頑張っていきたいと思っています。

文化部主催の一番のイベントは、10月に行いますバス研修旅行です。昨年度はあいにく大型台風のため、やむなく中止となりました。代替としてお食事会を企画し、多くの保護者の方にご参加いただきましたこと、御礼申し上げます。今年度は御殿場方面を予定しております。皆様に「楽しかった」といっていただけるような旅行を企画いたしますので、ふるってご参加いただければと思います。



昨年度保護者対象セミナーの様子(2月22日実施)

また、保護者セミナーも9月と2月に開催いたします。ぜひご参加下さい。1年間よろしく申し上げます。

部長挨拶

教育支援部 田中さとみ

教育支援部長の田中です。学年別例會部から教育支援部と改名して2年目となりました。活動内容は秋桜祭文化の部でのバザー運営開催ですが、バザー部とならなかったのは活動そのものが、教育を支援するというのが、奥深いものだからだと解釈しております。その名にふさわしい活動を目指して参ります。

各クラスに1名いる部員は、バザー提供品の回収から値付け、当日の当番など、直接活動しておりますが、実は皆様も、品物を提供することや、バザー会場で買い物をするなど、この教育支援部の活動に関わっていることとなります。バザー売上金は全て、生徒の教育環境の整備や拡充に使われます。是非、娘たちの「教育」を「支援」するため、バザーへのご協力をお願いいたします。



昨年のバザー提供品例

妻中の今を皆さまに！
会報編集部 山本文賀

この度、縁あって会報編集部部長を務めさせて頂いた、ごことになりました。思えば娘が中2の時に会報部員になりましたが、ほとんど仕事をしないままタイに行くことになり、更に帰国後、文化部主催のランチ会等で会報部の方たちに再会したことで会報部の仕事に再度携わることになりました。今年度の会報部員の方たちの力を借りて、今年1年皆様に「妻中の今」をご紹介します。

父母会報は、年2回7月と3月の発行を予定しています。今号では、年度初めにあったりまして、各学年の先生方のご紹介、5月に行われた各学年の旅行、そして、昨年度末に開催されました「大妻4校合同シンポジウム」などの様子を掲載しています。今年度も原稿依頼などお願いすることはばかりかと思いますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。



第1回部会の様子

卒業記念企画部
前年度部長 関口元美

卒業記念企画部は24年度より高校3年生の「卒業を祝う会」のお手伝いをするための部として発足しました。今年の3月15日も昨年同様コスモスアゴラで生徒全員が参加し保護者の方々とお世話になった先生方をお招きして盛大に行いました。親しい友達との別れを惜しみつつも会食を楽しみながら入学当時のスライドを懐かしく見たり、とおきの余興を披露したりと皆の心に残る素敵な会になりました。皆様ご協力ありがとうございました。



心に残る余興も披露



立食しながら思い出のスライド映像に盛り上がる



【執行部役員】

後列左から：堀江（副会長）、川本（副会長）、加藤（副会長）、宮川（副会長）、須田（副会長）、高田（副会長）
前列左から：川崎（会計監査）、大谷（会計）、田中（会長）、吉見（会計）、石川（会計監査）

平成 26 年度 父母後援会役員を紹介

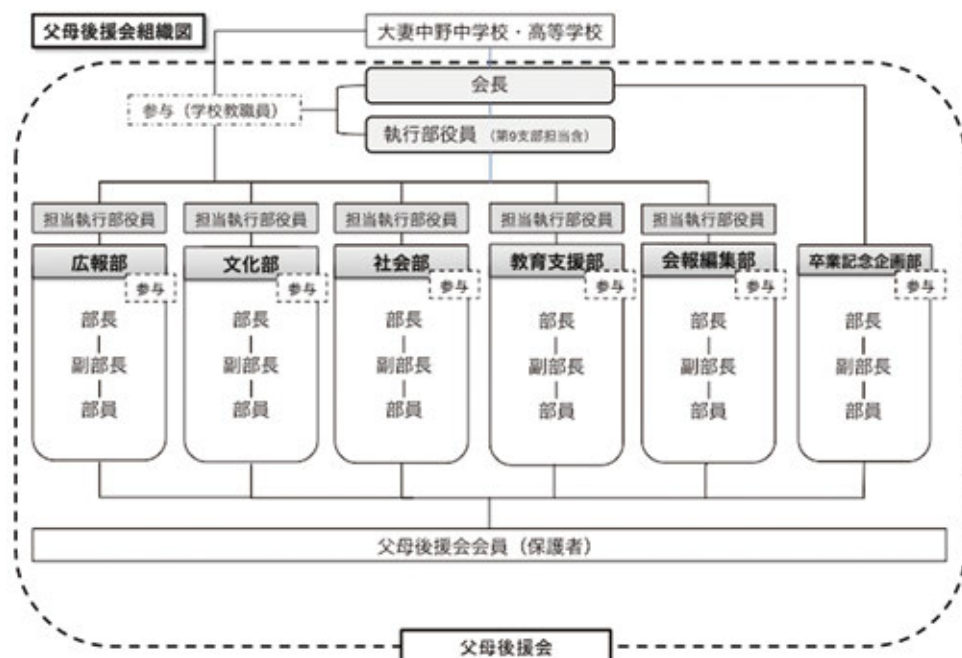
1 年間宜しくおねがいします！

新年度に際し
執行部副会長 須田信好

5月24日に開催された父母後援会総会には多数の方にご参加いただきました。全ての議事が滞りなく決まり、ありがとうございました。

今年度は田中雅敬新会長の下、総勢101名の部員で父母後援会の活動が本格的にスタートしました。各部署々な企画・運営を行っております。楽しみにして下さい。大妻中野中学校高等学校は、昨年度大妻学院の一員となったこと

や新校舎竣工による教育環境の充実を背景に、有名大学への進学増加や各クラブの好成績が目立つ等、あらゆる面で光輝いています。そんな元氣な子供達を応援し、宮澤校長先生はじめ、先生方のサポートを行なう応援団として、1年間頑張っていきたいと思います。皆様のご理解・ご協力を賜りたく存じます。



全体会議の様子



在校生と卒業生によるパネルディスカッションの様子



「女性として妻として母として」と題して語る久保純子さん

今、時代に合った型も生み出さなければならぬですが、長年受け継がれた型を超えるのも非常に難しいこと。女子校ならではの教育を学び、好奇心・品性を忘れずチャレンジして欲しいです。

今年の2月23日、『大妻4校合同シンポジウム』に参加しました。久保純子さんによる基調講演、大妻中野からは合唱部演奏、大妻4校の在校生と社会人卒業生のパネルディスカッションが行われました。在校生の夢においては、人との関わりを大切に国際交流へ向けられていることが印象的でした。

大妻合同シンポジウム
執行部副会長 吉見久美子

編集後記

新年度を迎え、部員も新たにスタートいたしました。今号は昨年度より引き継いだものですが、132号では、何か新しいものを…と、部員一丸となり、模索中です。末筆になりましたが、発行にあたりお忙しい中ご協力をいただきました皆様に心より御礼申し上げます。

(J1 山際、J2 高原、J3 森、H1 秋葉、H2 繁松、H2 中島、H2 山本)

退職教職員

～ありがとうございました～

小林 博 (事務)	諸井優美 (外国語)	吉澤 奏 (理科)
富安賢司 (理科)	清水文博 (書道)	糸谷夏実 (理科)
鶴澤菜摘子 (外国語)	武山新也 (英語)	小藺江優理 (理科)
加藤浩子 (国語)	竹内 司 (数学)	